

安全・安心プロダクツ

アイペック（富山市、吉岡裕一社長、076・438・0808）は、構造物のボルトやコンクリート用アンカーボルトが規定の強度を保っているかを確認する引っ張り強度試験（引き抜き試験）業務と同試験に使う試験装置を提供している。約15年前に始め、同社の事業の柱となっている。

強度試験はコンクリート構造物の鉄筋やアンカーボルトなどに荷重を計測するロードセルを取り付け、油圧ジャッキで荷重を加える。荷重をこれ以上加えられない状態で約1分経過し、安定した時点を載荷荷重とする。

「治具や備品はほとんど自社で製作している」（中野幸長取締役）ためユーザーからのさまざまな要求に応えられる。

照明機器を固定する直径が約8ミリのネジなど小さなものは、油圧ジャッキを使わず手



手で荷重を加える。橋の耐震補強用アンカーボルトなど大きなものは最大100トまで荷重

アンカーボルト引っ張り試験装置 アイペック

をかけて検査する。荷物をつり下げるために天井に設置されたフックも検査（写真）の対象だ。

「ロードセルが正しい数値を示しているかは常に基準器で照合している」（同）と正確さには強い自信を持つ。最近ではものを引っ張るロープにかかる荷重やケーブルカーの車体重量の測定、ベランダや建物内に付いている手すりの荷重試験の依頼なども請け負った。

自社で随時、検査をしたいというユーザーの要望に応じて、ロードセルと数値表示装置を組み合わせた試験セットも提供している。各種機材の組み合わせやサイズによっても異なるが、1万円50万円から販売している。

規定の強度を確認／ユーザーの要望に対応